

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 12 月 4 日  
東京電力株式会社

## <タービン建屋地下のたまり水の処理>

### 高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

#### [処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。
- ・12/2 18:00 所内電源の電源強化工事を終了したことから、当該電源からの受電操作のため、蒸発濃縮装置を停止。  
 なお、第二セシウム吸着装置については運転を継続しており、滞留水処理を継続実施。また、原子炉注水はバッファタンク内の淡水化処理した水により継続実施しており、影響はなし。
- 12/3 8:04 淡水化装置(逆浸透膜型)を停止。8:30 セシウム吸着装置を停止。  
 13:30 受電操作を完了したことから、淡水化装置(逆浸透膜型)の運転を再開。  
 14:22 セシウム吸着装置の運転を再開。14:34 蒸発濃縮装置の運転を再開。
- ・12/4 11:33 頃 作業員が蒸発濃縮装置周辺の堰内に水が溜まっていることを確認(堰内に溜まっている水は約 45m<sup>3</sup>と推定)したため、11:52 頃 当該装置を停止。  
 12:14 頃 作業員が目視にて当該装置を確認し、漏れいは停止したものと考えている。その後、調査を行ったところ、14:30 頃、コンクリート製の堰にひび割れがあり、そこから堰外の側溝に漏れ出した水が漏れ出ていることを確認(堰外に漏れ出た水付近の表面線量率:ベータ線 110mSv/h、ガンマ線 1.8mSv/h)。現在、堰外への漏れいを止めるための応急措置を検討中。なお、淡水化装置(逆浸透膜型)は継続運転しており、淡水化処理した水は十分にあることから、原子炉注水への影響はなし。

#### [貯蔵設備]

- ・6/8~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

### トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・11/30 18:03 ~ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・11/15 9:25 ~ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・12/4 移送予定なし

移送先	移送先の水位状況 (12/4 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 2,419 mm(水位上昇累計: 3,636 mm) 12/3 7:00 から 84 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 1,540 mm(水位上昇累計: 2,266 mm) 12/3 7:00 から 70 mm 下降

### トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (12/4 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. < + 850mm (12/3 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,493mm (12/3 7:00 から 48 mm 上昇)	O.P.+ 4,076mm (12/3 7:00 から 144 mm 上昇)
2号機	O.P.+ 2,927mm (12/3 7:00 から 7 mm 下降)	O.P.+ 2,941mm (12/3 7:00 から 6 mm 下降)	O.P.+ 3,064mm (12/3 7:00 から 6 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,184mm (12/3 7:00 から 1 mm 上昇)	O.P.+ 2,926mm (12/3 7:00 から 2 mm 上昇)	O.P.+ 3,143mm (12/3 7:00 から 3 mm 上昇)
4号機	-	O.P.+ 2,953mm (12/3 7:00 から 2 mm 上昇)	O.P.+ 2,975mm (12/3 7:00 から 4 mm 下降)

## <放射性物質のモニタリング>

### 海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約 30m	12/3	8:45	ND	0.04	0.05
福島第一 1~4号機放水口南側約 330m	12/3	8:25	ND	0.02	0.02

・その他、福島第一原子力発電所沿岸2地点(12/3採取)における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)については全てND。

## <使用済燃料プールの冷却> (12/4 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22~)	16.0
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21~)	23.9
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33~)	18.9
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08~)	26

[2号機]・11/6~ 使用済燃料プールの放射性物質除去のため、放射性物質除去装置の運転を開始。

[4号機]・11/29~ 使用済燃料プールの塩分除去のため、イオン交換装置の運転を開始。

## <原子炉压力容器への注入・原子炉の状況> (12/4 11:00 時点)

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約 4.4 m <sup>3</sup> /h)	44.4	45.4	116.8 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約 3.1m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約 4.3 m <sup>3</sup> /h)	71.5	71.0	114 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約 2.0 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約 6.1 m <sup>3</sup> /h)	60.7	67.9	101.6 kPaabs

[4号機] [5号機] [6号機] 特に変化なし。

## <その他>

- ・10/7~ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。
- ・12/3 17:48 頃~ 発電所敷地内の線量率を測定するモニタリングポスト(以下、MP)[No.8]の表示が欠測になっていることを確認。その後、原因が特定できず復旧ができなかったため、MP[No.7]およびMP[No.8]付近で並行監視している線量率計(原子炉压力容器への窒素封入に伴う監視強化のため設置された線量率計)により、代替計測を実施し、直近の値は前日より変動がなし。今後、当該MP[No.8]については修理予定。
- ・12/3 19:07~21:01 大熊線2Lから受電している予備変圧器電源盤ケーブルの移設・切断のため、当該電源盤の電源切替作業を実施。なお、本作業に伴い、所内の休憩所の照明や局所排風機、正門・免震重要棟・5/6号機サービス建屋休憩所地点の連続ダストモニタ等が停止。その後、電源切替作業の終了に伴い、停止していた機器については復旧済み。  
8/4 に確認された3号機起動用変圧器ダクトからコントロール建屋への漏水事象(8/8公表済み)に対する止水処理に向けた準備作業。

以上